



◎ユニバーサルデザインを取り入れたまちづくりの推進
年令、性別、障害の有無にかかわらず、誰もが安全で快適に生活できる、潤いのあるまちづくりを目指すと共に、健康の維持や地域再発見のため、安全で安心な社会基盤の整備をユニバーサルデザインの視点を生かし推進してまいります。

◎地域経済活性化の推進
景気低迷の長期化により、産業のみならず地域全体が閉塞感に覆われている今、それを打破するために、新たな技術による雇用や産業の創出、さらに地域の特性を生かしたコミュニティビジネスの支援を行い、経済の活性化はもとより地域の総合的な活性化を図ってまいります。

◎持続可能な循環型システムの推進
地球温暖化、廃棄物、交通公害など様々な環境破壊による地球的な危機に直面する中、化石燃料に変わる新たなクリーンなエネルギーの導入を目指した、本市独自の地域新エネルギービジョンを策定し、資源の有効活用による「持続可能な循環型システム」の構築を目指してまいります。

◎協働のまちづくりの推進
自己決定・自己責任の原則に基づき、自分の足で立つ地域づくりを目指し、ボランティアやNPOなどの市民活動の促進を図るとともに、市民との連携・協力を強化し、共に考え、共に行動する市民と行政との協働のまちづくりを推進し、互恵・共生社会の実現に努めてまいります。

◎電子自治体の推進
国においては、平成十五年度までに電子政府の基盤を構築することを目指し、諸施策が推進されており、地方公共団体においても電子自治体への早急な対応が要請されております。本市としても、市民にとっては利便性、行政にとっては効率性、また企業にとっては新需用の創出となる三位一体を基本理念とした、先進的なネットワーク社会の構築に向けた取り組みを推進してまいります。

用語解説
※ユニバーサルデザイン：すべての人にとって、できる限り利用可能であるように製品、建物、環境などをデザインすることであり、デザイン変更や特別仕様のデザインが必要であってはならない。
※スケールメリット：規模を大きくして得られる利益。規模の経済。